

4 歳時の全身掻痒と夜間覚醒を経て季節性の肘・膝症状のみとなった小児アトピーの経過 (8 歳 女児)

症例 ID：001-08-KN2 | 記録日：2016 年 8 月 25 日

1. 診断・治療前経過

4 歳の夏頃、首、腕の関節、膝裏、背中、腹部に小丘疹が出て掻くようになりました。顔には症状がありませんでした。症状に気づいてすぐに松本医院を受診され、ステロイドを使用せず治療を開始しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	ステロイドは使用していません。
製品名	該当しません。
強度	該当しません。
使用期間	使用歴はありません。
中止時期	該当しません。
来院前／後	来院前後とも使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
4 歳夏頃	発症	首、肘、膝裏、背中、腹部に小丘疹が出て掻き始めました。
治療開始後	夜間症状	初期は夜中に何度も目を覚ましてかゆがりました。
治療経過中	変化	夜間に起きる回数が減り、外用する範囲も小さくなりました。
8 歳時	記録時点	皮膚はきれいになり、季節によって膝裏と肘に小丘疹が出るものの、以前のような強いかゆみはありませんでした。

4. ピーク時期

ピークは、治療開始初期に夜中に何度も目を覚まし、首、腕、膝裏、背中、腹部をかゆがった時期です。

5. 困りごと

- ・夜間に何度も起きてかゆがり、家族の睡眠にも影響しました。
- ・外用薬が衣類に付き、パジャマや服が黒くなる時期がありました。

6. 経過のまとめ

治療を続けるうちに夜中に起きなくなり、外用する範囲も小さくなりました。

8 歳時には季節によって肘と膝裏に小丘疹が出る程度で、以前のように強いかゆがることはなくなりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。